



広報もとみや 号外

平成23年
9月14日
発行
本宮市
秘書広報課

No.9

市民の健康を守る新たな取り組み!

ホルボディカウンター導入へ

甲状腺超音波検査を実施

医療機関との懇話会設置

市では、市民の皆さんの健康に対する不安を少しでも和らげることができよう、新たに3つの取り組みに関して、市議会9月定例会に議案を提出する予定です。

①内部被ばくの不安を解消

市では、市民の皆様方からのご要望が多い内部被ばく検査について、放射線による影響を受けやすい子どもたちや妊婦の皆さんをはじめ、市民の健康を管理するため、「ホルボディカウンター」を導入します。設置する場所は「えぼか」

の予定です。

検査の対象は、当面18歳未満の子どもたちと妊婦の皆さんを優先し、その後、全市民に広がっていきます。

②甲状腺超音波検査

市内の医療機関の協力を得て、18歳未満の子どもたちに甲状腺超音波検査を実施します。

③医療機関と懇話会設置

市民の皆さんの長期的な健康管理のため、市内の医師との懇話会を設置します。

市長メッセージ

あれからのカブ



本宮市長 義行 高松

■半年が経過

3月11日の「東日本大震災」から、9月11日で半年が経過しました。東京電力の福島第一原発の事故の影響により、市民の皆さまには依然として、心休まることのない日々をお過ごしのことと存じます。また、あらためて今回の大震災により尊い命を落とされました多くの皆さまに対し、市民の皆さまとともに心から哀悼の意を表したいと存じます。

震災からの復旧・復興は、原発事故と放射能問題への対応が重要であります。全国的に日常生活や農業・商業・工業活動など広範囲な影響を及ぼし、安全安心な生活を取り戻すためには、なお多くの課題が山積しております。

■これまでの対応

本市は震災以降、国や県の関係機関に対して、様々な要望活動を展開しながら、本来、東電と国の責任において対処されるべきことであっても、遅々として進まない状況を打

開すべく、市が実行できる対応策を冷静に見極めながら対応してまいりました。

▽公共施設等の除染対策

運動場、広場や公園の除染は、小中学校などの校庭の除染と同じ方法で順次作業が終了しつつあります。生活道路などの除染対策は汚泥などの一時仮置き場を確保したうえで、速やかな実施を目指したいと考えておりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

▽放射線量マップの作成

市独自の放射線量マップについては、今まで2種類の簡易型測定器を貸出し、ご報告いただいた値に基づき作成したものを公表してまいりましたが、今後は簡易型測定器の機器を統一し、より正確な比較が可能となる放射線量マップを作成することとしました。

▽健康管理対策

また、中学生までの子どもさんと妊婦の皆さまに対する「積算線量計・ガラスバッジ」の無料貸出しや高校生への電子式線量計の貸出しも開始しております。

▽風評被害対策

次に、米の収穫期を迎え、県が早場米から順次検査し、玄米や精米に含まれる放射線物質の値が新聞等で報道されています。市としては、風評被害対策が重要であると考え、大消費地である首

都圏を中心に各種機会を利用して、安全性をPRしてまいります。また野菜などを検査する簡易線量測定機器を10月上旬には配置すべく準備を進めてまいります。

■他の自治体との連携・支援

さて、原発立地地域より避難を余儀なくされ、市内に建設された仮設住宅には、浪江町の方々が順次入居されております。市では浪江町と協定を締結し、9月12日より白沢総合支所内に、浪江町役場出張所が開設されました。今後も積極的な支援をしていかなければならないと考えております。

また、本市は隣接する県内自治体との相互支援とは別に、遠隔地にある自治体との防災協定を含む「姉妹都市交流」の必要性を痛感しました。その第一歩として、埼玉県上尾市との交流を幅広く展開してまいりたいと考えております。

■復興に全力を傾注

結びに、私は今後もあらゆる機会を通じて、市民の皆さまからのご意見などを拝聴し、皆さまが抱かれる様々な不安を払拭するため、全力を傾注し復興に向けた努力をまいります。そして、一日も早く「元気なもとみや」を取り戻すために、市民の皆さまとともに進んでまいりたいと考えておりますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

【貸し出しの機種変更について】

現在、市役所と白沢総合支所において、放射線測定器の貸し出しを行っています。貸し出しには2種類の簡易型測定器を使用しており、また、市で公表している分館などの測定は別の機器を使用し測定しています。

市では、機器ごとに異なる測定値では、比較検証に適さないことから、モニタリングポスト(市役所に設置してある測定器)と同等の精度をもつヨウ化ナトリウムシンチレーション測定器を購入しました。

9月12日から新しい測定器に変更しましたのでお知らせします。なお、現在、市で測定している地区公民館など12箇所も同じ測定器で計測しお知らせしています。



高性能な簡易型測定器。
Thermo社製RADEYE PRD

◆問い合わせ先

生活安全課

☎ 1 1 2

◆問い合わせ先

秘書広報課

☎ 2 2 3



▲防災無線による測定値は9月12日から、火・木・土曜日にお知らせします

【防災無線による環境放射能測定値のお知らせ】

これまで防災行政無線により市内各地域の環境放射能測定値のお知らせを毎日放送していましたが、日々の変動がごくわずかであり落ち着いた状況にありますので、9月12日以降は、火曜日、木曜日と土曜日の週3回のお知らせに変更することとしたのでご理解くださいますようお願いいたします。

なお、平日の測定値は、市のホームページで毎日更新していきますのでご確認ください。

本宮市産早期出荷米の検査結果

旧市町村名	該当地区	検査する圃場数	検査日	検査結果 (ベクレル/kg)			出荷開始日
				ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	
和木沢村(旧本宮)	高木	1	8月26日	検出せず	検出せず	検出せず	8月26日
荒井村	荒井	4	8月26日	検出せず	検出せず	検出せず	8月31日
			8月30日	検出せず	検出せず	検出せず	
			8月31日	検出せず	検出せず	検出せず	
			8月31日	検出せず	検出せず	12	
岩根村	岩根	4	9月1日	検出せず	検出せず	検出せず	9月5日
			9月1日	検出せず	検出せず	検出せず	
			9月2日	検出せず	検出せず	検出せず	
			9月5日	検出せず	検出せず	検出せず	
和木沢村(旧白沢)	糠沢 和田	1	9月7日	検出せず	検出せず	検出せず	9月7日
本宮町	本宮	1	9月7日	検出せず	10	検出せず	9月8日

【早期出荷米の検査結果について】

福島県では早期出荷米について、全圃場(連坦は1筆として)の放射性物質調査を行い、その安全性が確認されたことから、検査をした圃場の米の出荷販売が可能となりました。

※微量に検出された玄米は精米をした結果、放射性物質は検出されませんでした。

※飲食物の摂取制限に関する指標に基づく摂取制限に関する指標

放射性ヨウ素：2,000ベクレル/kg

放射性セシウム：500ベクレル/kg

◆問い合わせ先 農政課 ☎内線157

学校・保育所

給食における食材の産地について

市内の学校・保育所の給食で使用しているほとんど食材は、米と牛乳を除き県外産を使用しています。米は平成22年の地元産のコシヒカリを使用しており、牛乳は県の検査で安全性が確認された福島県産の原乳を使用したものを提供しています。9月2日の学校給食センターで使用した食材は次のとおりです。

なお、市のホームページでは、月に2回程度、公立の学校・保育所の給食で使用している食材を公表してまいります。

また、市では食材の放射線量を測定する機器を購入し、学校給食などの食材の放射線量を測定する予定であり、今後とも安全・安心な給食を提供してまいります。

10月2日学校給食センターの使用食材

【麻婆豆腐】木綿豆腐(加工品)、豚ひき肉(宮城県) 干し椎茸(岩手 新潟ほか) ねぎ(茨城県) にんじん(北海道) にら(山形県) 【たまごスープ】鶏若鶏肉モモ(北海道) にんじん(北海道) 生わかめ(岩手県) じゃがいも(北海道) 【フルーツ杏仁みかん(加工品) もも(加工品) 杏仁豆腐(加工品)

◆問い合わせ先

幼保学校課
 学校教育係 ☎内線2336
 幼保教育係 ☎内線2334

ご協力ください!

健康管理調査が始まります

県では、原子力災害による放射線の影響を踏まえ、将来にわたる県民の健康管理を目的として、「県民健康管理調査」を実施いたします。

全県民を対象に実施する「基本調査」では、3月11日から25日の行動記録を記入していただくようになります。この行動記録に基づいて、放射線による個人の外部被ばく線量を推計して、個人に結果が通知されます。10月頃に県民健康管理調査書が福島県立医科大学から皆さんのお手元に届く予定となっております。

当時の行動記録が最も重要な情報源となりますので、できる限り行動記録は詳しく記入のうえ回答をお願いいたします。ようご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ先

福島県保健福祉部
 健康管理調査室
 ☎024-521-8028

原木しいたけ(施設出荷制限解除)

出荷制限がされていた本宮市の原木しいたけ(施設)は、9月7日付けで「出荷制限の解除」がなされましたのでおしらせします。

◆問い合わせ先

農政課 ☎内線157

草・ひまわり・木の処分について

もとみやクリーンセンターの焼却炉は、バグフィルター方式の排ガス処理をしております。煙突の排ガスからは放射性物質は検出されていません。しかし、炉の中に残る灰は放射性物質が濃縮されています。放射性物質を含む草や木を多量に焼却すると、さらに焼却灰の放射能濃度が高まり、灰を埋め立て処分できる基準(10万ベクレル/時間)を超えることとなることから、このような事態は避けなければなりません。

もとみやクリーンセンターでは、焼却灰を適正に処分するため放射能濃度の低減を図る必要があるため、中でも影響が大きい「草・ひまわり・枝木」の搬入を次により制限させていただきます。

刈り取った草およびひまわり可燃物用(ごみ袋(黄色の袋)に入れる)

▽ゴミステーションに搬出する場合：収集日毎、1世帯3袋まで
 △もとみやクリンセンターに直接持ち込む場合：1日、1世帯5袋まで

剪定した枝木など
 枝の太さ10cm以内のものを

福島県立本宮高等学校 公開文化祭

第11回 檀陵祭 開催のお知らせ

とき 10月2日(日) 10:00~15:00

スローガン
 ゴミをいかに減らすか/被災された方・地域とともに

イベント
 ○おいしい食べ物を無料で提供! (なくなり次第終了)
 ○献血にご協力を
 ○ペットボトルのキャップ回収にご協力ください

※駐車場はリオンドール北側駐車場をご利用ください

直径35cm×長さ60cm程度に紐で束ねる

▽ゴミステーションに搬出する場合：収集日毎、1世帯30キログラム以内

△もとみやクリンセンターに直接持ち込む場合は1日：1世帯50キログラム以内

汚泥・土砂・稲ワラは当分の間、処分ができません。もとみやクリンセンターにおいても受入れはできません。

◆問い合わせ先
 生活安全課
 環境保全係 ☎内線114

公園等表土の除去について

市では、市民の皆さんが数多く利用する公園や各地区の運動場など除染作業を進めています。8月末現在、除染予定の場所85カ所のうち38カ所の作業が終了しましたのでお知らせします。なお、今後も早期に除染が完了するよう急ピッチで作業を進めておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

【公園等の表土除去の完了場所について】

単位:マイクロシーベルト/時間

	除染場所	対象	箇所種類	測定結果	
				施工前	施工後
1	兼谷平	表土	土	2.11	0.25
2	みずいろ公園	わらしっこ広場	土	2.42	0.22
		園路	インターロッキング	2.36	0.82
		みんなの原っぱ	芝	2.54	0.17
3	欠下	表土	土	1.29	0.30
4	立石	表土	土	2.41	0.49
5	坊屋敷	表土	土	2.43	0.35
6	中台	表土	土	2.05	0.25
7	葎ヶ入第1	表土	土	1.95	0.16
8	関根第3	表土	土	1.10	0.25
9	関根第1	表土	土	1.68	0.20
10	関根第4	表土	土	1.69	0.24
11	柳ノ内	表土	土	2.73	0.40
12	いこいの広場	表土	土	2.01	0.20
13	青田運動場	表土	土	1.59	0.13
14	日記沢	表土	土	1.11	0.22
15	峰崎	表土	土	1.85	0.24
16	孫市	表土	土	2.12	0.21
17	荒井児童広場	表土	土	2.13	0.16
18	まゆみヶ丘団地	表土	土	1.76	0.25
19	瀬戸川第2	表土	土	1.97	0.22
20	榊形第2	表土	土	2.57	0.19
21	榊形第1	表土	土	2.64	0.19
22	下ノ里	表土	土	2.50	0.34
23	榊形第3	表土	土	2.36	0.36
24	村山団地	表土	土	1.45	0.30
25	上野台	表土	土	2.22	0.32
26	下ノ原	表土	土	2.73	0.30
27	平内	表土	土	1.97	0.23
28	北石橋	表土	土	1.20	0.25
29	高松ふれあい広場	表土	土	2.10	0.64
30	光が丘秋公園	表土	土	1.39	0.16
31	光が丘春公園	表土	土	2.02	0.18
32	光が丘夏公園	表土	土	1.69	0.16
33	和木沢運動場	表土	土	1.75	0.19
34	和田分館広場	表土	土	2.38	0.43
		表土	土(碎石)	2.39	0.19
35	松ヶ台	表土	土	2.39	0.37
36	柳内第二	表土	土	2.39	0.21
37	稲沢運動場	表土	土	2.39	0.30
38	長屋平	表土	土	2.39	0.31

※線量は地上1センチメートルの値。